

## 令和2年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
17	1	渡 辺 佳 正 議員	1 / 1	
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	核兵器廃絶平和都市を宣言している富士宮市として取り組むべき平和活動について	<p>(1) 市の核兵器廃絶平和都市宣言35周年を記念して昨年の夏休みに行われた中学生の広島派遣事業は意義深いものだったが、その意義と、同事業を継続することについて、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 核兵器廃絶平和都市宣言の標柱10基目について、建設計画はどうか。</p> <p>(3) 日清・日露戦争、第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、太平洋戦争まで約50年間に及ぶ戦争は、破壊的殺傷能力を持つ兵器の使用及び国の総力を挙げての戦争ということで、その激動の歴史は富士宮市民の今日のくらしに大きな影響・爪痕を残している。市の郷土史としても重要な戦争史の調査研究に市民と共に取り組むことの意義について、市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することは、世界で唯一の戦争被爆国として非常に重大な責任であると考えますが、市長の考えを伺う。</p>		市長 教育長 関係部長
2	小中学校及び保育園・認定こども園の給食における地産地消の取組について	<p>(1) 学校給食で使用している米、牛乳、野菜、肉類、魚などについて。</p> <p>① 富士宮産の米、野菜、肉類、魚の使用率をさらに高めるために、必要なことは何か。</p> <p>② 学校給食における富士宮産100%の牛乳は、富士宮が全国に誇る地産地消の取組である。現在の体制を維持・発展させるために、市としてできることは何か。</p> <p>③ 学校給食では、富士宮農協から県学校給食会を通じて購入する富士宮産の米にビタミン強化米を混入して提供しているようだが、農協から直接購入するのと価格は違うのか、またビタミン強化米を混入する必要はあるのか。</p> <p>(2) 食育の取組について。</p> <p>① 給食に食材を提供している地元生産者の顔や思いを子どもたちに届けるために、どのような取組が行われているか。</p> <p>② 調理師や栄養士と子どもたちとの交流については、どのような取組が行われているか。</p> <p>(3) 保育園・認定こども園の給食について。</p> <p>① 食材購入について、市は購入元や生産地などを把握しているか。</p> <p>② 地元産（市内産・県内産・国産）食材の使用率はどのように推移しているか。</p> <p>③ より安全でおいしい食材の購入に向けて、どのような取組が必要と考えるか。</p>		市長 教育長 関係部長